

プログラム

第1日目 2017年9月20日（水）

12:20～13:00	受付	
希少動物人工繁殖研究会 第25回会議		ページ
13:00～	事務連絡 中川大輔（神戸どうぶつ王国）	
	司会挨拶 橘 淳一（姫路市立動物園）	
	開会挨拶 佐藤哲也 実行委員長（那須どうぶつ王国／神戸どうぶつ王国 園長）	
	講演「希少動物人工繁殖研究会 25年の軌跡」 佐藤哲也 希少動物人工繁殖研究会 会長代行（前掲）	5
	総会 議案：希少動物人工繁殖研究会の解散，配偶子バンクや預金等の取扱い， 会計報告，新研究会への移行説明等	
	閉会宣言 土井 守 希少動物人工繁殖研究会 元会長（岐阜大学応用生物科学部）	
第1回 野生動物保全繁殖研究会大会（1日目）		ページ
～14:00	「野生動物保全繁殖研究会」の説明，規則案・体制案の紹介，入会申込みの説明	
14:00～14:15	休憩	
14:15～14:20	「野生動物保全繁殖研究会」発足宣言	
14:20～	口頭発表（4題） 座長：佐野祐介（大阪市天王寺動物公園事務所）	
14:20～14:40	O-01 ミナミイワトビペンギンにおける凍結精液を用いた人工授精について 伊藤このみ（大阪・海遊館）ほか	6
14:40～15:00	O-02 飼育下のキタイワトビペンギンとミナミジェンツーペンギンの抱卵温度の比較 大野晃治（男鹿水族館 GAO）ほか	7
15:00～15:20	O-03 飼育下におけるサイチョウの育雛行動に関する研究 豊田英人（埼玉県こども動物自然公園）ほか	7
15:20～15:40	O-04 飼育下ヘルーガにおける繁殖期の行動パターンと生殖腺活動との関係 ～6年間の観察 大瀧恵子（岐阜大学大学院応用生物科学研究科）ほか	8
15:40～15:55	休憩	
15:55～	口頭発表（3題） 座長：乙津和歌（恩賜上野動物園）	
15:55～16:15	O-05 ホッキョクグマの繁殖に関わる行動指標と性ホルモン動態の関係 三田さくら（仙台市八木山動物公園）ほか	9
16:15～16:35	O-06 国内飼育下ミナミシロサイの性周期の状況と今後の発情誘起の取組みについて 奥田龍太（日本動物園水族館協会生物多様性委員会）ほか	9
16:35～16:55	O-07 アフリカゾウにおける偽発情期及び排卵日の特定とそれを利用したペアリング について 松村亜裕子（盛岡市動物公園）ほか	10
16:55～17:00	1日目閉会挨拶，事務連絡	
	移動	
18:00～20:30	懇親会 （神戸どうぶつ王国）	

第2日目 2017年9月21日(木)

第1回 野生動物保全繁殖研究会大会(2日目)			ページ
8:30~9:00	受付		
9:00~9:55	ポスター発表(25題)		
	P-01 ケープハイラックス由来組織を用いた Triple TOF LC/MS/MS によって得られた質量分析結果の一例 安齋政幸(近畿大学先端技術総合研究所)ほか	14	
	P-02 飼育下アフリカゾウ 1 個体から採取した精液の輸送後および凍結融解後の精子性状 鳥居住子(北海道大学大学院獣医学研究院)ほか	14	
	P-03 死亡アフリカゾウ卵巣から卵子採取を試みた 1 例 柳川洋二郎(北海道大学大学院獣医学研究院)ほか	15	
	P-04 飼育下アメリカナマティーの卵巣周期と同居 2 個体間の周期の同調 楠田哲士(岐阜大学応用生物科学部)ほか	16	
	P-05 雌オランウータンにおける尿中性ステロイドホルモン濃度動態と生殖器計測結果について 木下こづえ(京都大学野生動物研究センター)ほか	16	
	P-06 アカネズミ-マウス異属間核移植は vitamin C と TSA 共添加により H3K9me3 の発現量を低下させる 東 里香(近畿大学先端技術総合研究所)ほか	17	
	P-07 精子の顕微注入法を用いたマウス雄性二倍体胚由来 ES 細胞の樹立 細川美咲(近畿大学先端技術総合研究所)ほか	18	
	P-08 飼育下カマイルカにおける糞中の性ホルモン動態を指標とした繁殖生理状態の低侵襲的モニタリング 松崎那奈子(岐阜大学大学院自然科学技術研究科)ほか	19	
	P-09 チーターにおける糞中の性ホルモン測定による発情周期の確認とプロスタグランジン F _{2α} 代謝物を指標とした妊娠判定例 倉持 浩(多摩動物公園野生動物保全センター)ほか	19	
	P-10 雄チーターにおける繁殖機能評価を目的としたハズバンダリートレーニング 鯨島弘士(九十九島動植物園)ほか	20	
	P-11 ツシマヤマネコの発情行動と新生子死亡後の発情回帰について 足立 樹(九十九島動植物園)ほか	21	
	P-12 飼育下ツシマヤマネコのホルモン測定による排卵確認と妊娠判定の状況について(2014~2017 年) 杉村春佳(岐阜大学大学院自然科学技術研究科)ほか	21	
	P-13 ツシマヤマネコにおける死体および救護個体の血液と眼房水を用いた性ステロイドホルモン濃度測定による野外での繁殖状態の推定 杉村春佳(岐阜大学大学院自然科学技術研究科)ほか	22	
	P-14 飼育下雌ライオンにおける妊娠期の内分泌モニタリングと妊娠判定 今井千尋(岐阜大学大学院自然科学技術研究科)ほか	23	
	P-15 飼育下リカオンにおける妊娠および偽妊娠の糞中プロゲステロゲン上昇期の同調 星野 智(岐阜大学大学院自然科学技術研究科)ほか	24	

	P-16 飼育下雌ユーラシアカワウソにおける卵巢活動の内分泌モニタリング 今井千尋（岐阜大学大学院自然科学技術研究科）ほか	24
	P-17 飼育下雄アラスカラッコにおける糞中アンドロジェン含量の動態を指標とした精巣活動の季節性 谷澤果南（岐阜大学大学院応用生物科学研究科）ほか	25
	P-18 飼育下雌アラスカラッコにおける糞中の性ステロイドホルモン代謝物の動態と体重変化からみた偽妊娠の存在について 谷澤果南（岐阜大学大学院応用生物科学研究科）ほか	26
	P-19 エゾヒグマにおける繁殖期中の卵巢動態調査および排卵誘起の試み 鳥居住子（北海道大学大学院獣医学研究院）ほか	27
	P-20 国内飼育下グレイシーシマウマにおける卵巢活動と妊娠状況の全頭調査 村上清香（岐阜大学大学院応用生物科学研究科）ほか	27
	P-21 ベニジュケイの親子判定の試み 尾形光昭（横浜市繁殖センター）ほか	28
	P-22 超音波診断装置を用いたアルダブラゾウガメの卵胞数の推移及び卵殻形成 下坂明子（日本獣医生命科学大学）ほか	29
	P-23 未成熟卵子の凍結保存及び発育誘導によるメス遺伝資源の新たな保存方法 藤原摩耶子（京都大学野生動物研究センター）ほか	29
	P-24 希少野生動物配偶子バンクの構築と現状について 金子武人（岩手大学理工学部）ほか	30
	P-25 横浜市繁殖センターにおける配偶子回収実績 尾形光昭（横浜市繁殖センター）ほか	31
9:55～10:00	2 日目開会挨拶，事務連絡	
10:00～	口頭発表（3 題） 座長：木下こづえ（京都大学野生動物研究センター）	
10:00～10:20	O-08 井の頭自然文化園におけるヤマネコの人工授精の取り組み 田島日出男（井の頭自然文化園）ほか	11
10:20～10:40	O-09 保全繁殖に関わる研究 – 北海道大学における取組 – 柳川洋二郎（北海道大学大学院獣医学研究院）	11
10:40～11:00	O-10 動物園水族館における繁殖研究および配偶子保存のネットワーク構築について（動物園水族館繁殖研究アライアンス） 楠田哲士（日本動物園水族館協会生物多様性委員会）ほか	12
11:00～11:15	休憩	
11:15～12:15	特別講演「鯨類の繁殖生理学：これまでとこれから」 吉岡 基（三重大学大学院生物資源学研究科）	32
12:15～	閉会挨拶 佐藤哲也（前掲）	
	事務連絡 中川大輔（前掲）	
	移動（神戸どうぶつ王国），昼食	
13:30～	施設見学「神戸どうぶつ王国」（入園無料）	